

2 まちの美化の推進 2,756万円 (令和2年度予算)

ごみの散乱の防止や不法投棄ごみ対策に関する事業を行っています。そのうちの一部を紹介します。



家庭ごみの防鳥用ネット貸出事業

市が収集するごみ収集場所（概ね5世帯以上）ごとに、防鳥用ネットを無償で貸し出しています。



【問合せ先】まち美化推進課 TEL:075-213-4960

不法投棄監視カメラ等の貸出事業

常習的な不法投棄に悩む地域団体に対し、監視カメラを無償で貸し出しています。



【問合せ先】まち美化推進課 TEL:075-213-4960

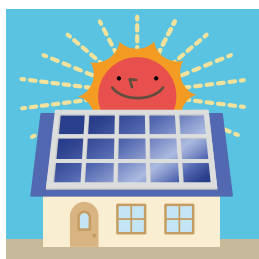
3 地球温暖化対策 2億7,602万円 (令和2年度予算)

2050年までのCO₂排出量正味ゼロの実現のために、「京都議定書」誕生の地として、様々な地球温暖化対策に取り組んでいます。そのうちの一部を紹介します。

すまいの創エネ・省エネ応援事業

利用時に温室効果ガスが発生せず、枯渇のおそれがない、太陽光などの再生可能エネルギーの普及拡大を進めています。

その取組の一つとして、太陽光発電システムをはじめ、蓄電システム、HEMS（家庭用エネルギー管理システム）及び太陽熱利用システムの住宅等への設置助成を行っています。



【問合せ先】地球温暖化対策室 TEL:075-222-4555

「エコ学区」ステップアップ事業

家庭から排出されるCO₂の一層の削減を図るため、環境にやさしいライフスタイルへの転換や省エネ、地域力の向上を目指し、学区ぐるみでのエコ活動を支援しています。

環境学習会の開催や省エネ診断会の実施等、学区の状況に応じたプログラムを用意しています。



【問合せ先】地球温暖化対策室 TEL:075-222-4555

より一層、有料化財源の使い道を知っていただけるよう、これからも分かりやすい広報に努めていきます！
有料化財源を活用した事業のチラシやパンフレットには「目印のマーク」が掲載してあるよ。探してみてね。



目印のマークです



この事業は家庭ごみの有料指定袋の収入を活用しています



この事業は家庭ごみの有料指定袋の収入を活用しています



美しい地球を次世代に引き継ぐため、これからも有料化財源を有効活用していきます！

環境政策局ごみ減量推進課 TEL075-213-4930

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000016745.html>

京都市 ごみ・リサイクル

検索

京都市環境政策局ごみ減量推進課発行
京都市印刷物 第024337号



ご存知
ですか？

家庭ごみ 有料指定袋制のこと

令和2年10月



南部クリーンセンター環境学習施設
「さすてな京都」令和元年10月オープン！
環境学習施設にも有料化財源が使われています。



めぐくん



市民の皆様のご理解・ご協力により、平成18年度に家庭ごみ有料指定袋制を導入して以降、導入前と比べて約3割の家庭ごみを減らすことができました。

その結果、京都市の市民1人1日当たりの家庭からのごみ量は、396g（令和元年度）と政令市で最も少ない量（他の政令市平均546g*）となっています。ありがとうございます。

皆様にご負担いただいた、有料指定袋の販売収入額（年間約18億円）は、全額をごみ処理コスト（年間224億円）に充当し、その結果節減することができた一般財源の相当額を「有料化財源」と位置付け、「ごみの減量・リサイクルの推進」「まちの美化の推進」「地球温暖化対策」に資する事業の財源として活用しています。

より一層のごみ減量に向け、ご協力をお願いします。

*：平成30年度 環境省一般廃棄物処理事業実態調査に基づいて算出

分別をしたら
燃やすごみを出す
量が減ったわ！

有料指定袋の導入により、
環境にいい取組
ができるんだね。

家庭ごみ有料指定袋でも CO₂削減!! ～バイオマスポリエチレンの活用～



ここみちゃん
(バイオプラ ver.)

京都市では、CO₂削減を図るため、有料指定袋の原料の一部（10%）にバイオマスポリエチレン*を活用しています（政令市初）。

*：食べることのできないサトウキビの芯などから生成されたポリエチレンのこと



ここみちゃん

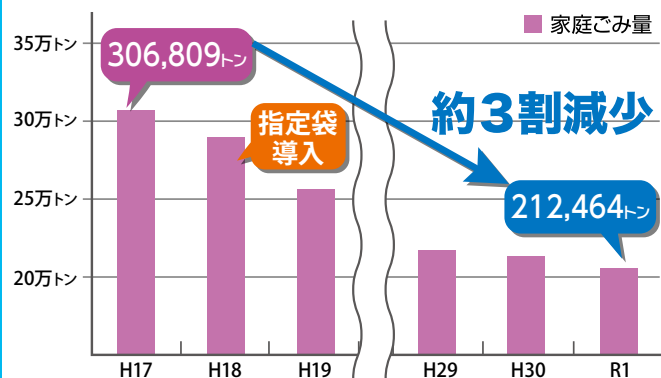
この事業は家庭ごみの有料指定袋の収入を活用しています





家庭ごみ有料指定袋制は、ごみ減量・リサイクルの推進を目的としています！

平成18年度に家庭ごみ有料指定袋制を導入して以降、導入前と比べて**約3割**の家庭ごみを減らすことができました。
ごみの減量により、クリーンセンターは、かつての**5工場**から**3工場**にまで減らすことができました。



また、ごみ処理にかかる費用も大幅に削減できました。

削減効果

- クリーンセンターの建替え経費（大規模改修含む）
約400億円×2工場分＝ **△約800億円**
- クリーンセンターの年間運営費
約10億円×2工場分＝ **△約20億円／年**
- 年間のごみ処理コスト（平成14年度→令和元年度）
△約144億円／年

ごみを減らすことで、削減されたコストを、教育や福祉・子育て支援の充実などに活用しています。
また、京都市唯一の埋立処分場をできるだけ長く活用していくことにもつながります。



しかし…

ごみの処理には、今なお年間224億円もの巨額の費用がかかっており、更なるコストの削減を図る必要があります。（令和元年度）

加えて

資源・エネルギーの有効利用・環境負荷の低減に努めなければなりません。

そのため

今後のごみの減量を更に進めていく必要があります。より一層のご協力をお願いします。



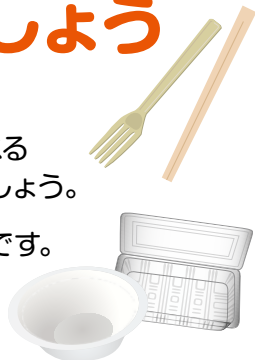
市民の皆様にご利用いただいている、45リットルごみ袋（燃やすごみ）1袋（45円）を処理するために、262円の処理経費がかかっています。

京都市のごみ量は、市民・事業者の皆様のご理解とご協力により、ピーク時（82万トン）から、半減（41万トン）しておりますが、更に、39万トン以下に削減することを目指しています。

使い捨てプラスチックごみを減らしましょう



- 宅配やテイクアウト等を利用する機会が増加することで家庭から出されるプラスチックごみが増加しています。ごみの発生抑制の観点から、自宅で食べる時などは、使い捨ての割り箸、フォーク、お手ふき等は注文の際にお断りしましょう。
- 食事のテイクアウトや宅配で使われるプラスチック製の容器や袋は資源ごみです。汚れを落とすうえで、「資源ごみ（プラスチック製の「容器」と「包装」）」としてお出しください。



有料化財源として、皆様に身近で環境にやさしい事業へ活用する額は、**16億7,100万円（令和2年度予算）**

有料指定袋の販売収入額18億500万円＋京都市民環境ファンド※取り崩し4億5,700万円－有料指定袋の製造経費等5億9,100万円

これを次の3つの分野の事業に活用するとともに、南部クリーンセンター環境学習施設「さすてな京都」の運営や、東北部クリーンセンターの大規模改修工事（二酸化炭素の排出を抑制する先進的な設備の導入）等に活用しています。

※環境共生社会の実現に向けて創設された基金です。

具体的な3つの分野の事業について見てみよう！

1 ごみ減量・リサイクルの推進 10億7,043万円（令和2年度予算）

個人やグループ単位でごみ減量・リサイクルに取り組んでいただく事業等を中心に行っています。そのうちの一部を紹介します。



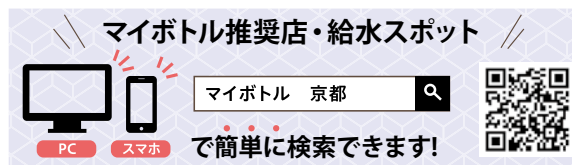
使い捨てプラスチック削減の推進

● レジ袋削減に向けた取組支援等

レジ袋等の使い捨てプラスチックを削減するため、マイバッグ携帯の呼びかけや、食品スーパー及びコンビニエンスストア、百貨店等で「NOレジ袋キャンペーン」を実施しています。

● ペットボトル削減に向けた取組

ペットボトルなどの使い捨てプラスチックを削減し、マイボトルの携帯を推進するため、本市が登録している「マイボトル推奨店」や本市施設等で飲料水を提供している「給水スポット」をまとめたマップを情報発信するなど、マイボトルの普及を促進しています。

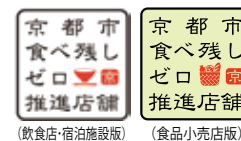


食品ロス削減の推進

● 京都市食べ残しゼロ推進店舗認定制度

まだ食べられるはずの食品が捨てられることのないよう、食品を無駄なくすべて食べきる「食べ残しゼロ」に取り組む事業者の皆様を「京都市食べ残しゼロ推進店舗」として認定しています。

認定店舗数：1,600店舗
（令和2年8月末現在）
（飲食店・宿泊施設版 1,099店舗）
（食品小売店版 501店舗）



● 地域学習会「しまつのこころ楽考（がっこう）」

食品ロスや使い捨てプラスチックの削減をはじめとしたごみ減量への理解と実践を呼び掛ける啓発活動として、「ごみ減量について楽しく考えよう」をコンセプトにした学習会を各地で開催しています。



【問合せ先】ごみ減量推進課 TEL:075-213-4930

紙ごみ削減の推進

資源物の排出機会を拡大し、ごみ減量・リサイクルを図るため、住民団体、マンション所有者・管理者を対象に、古紙類（新聞・雑誌のみなど）、古着類などの資源物を回収する地域の皆様の主体的な取組に対して助成するコミュニティ回収制度の利用を推進しています。集団回収実施団体：3,096 団体（令和2年7月末現在）

【問合せ先】まち美化推進課 TEL:075-213-4960



小型家電リサイクル事業

使用済小型家電を回収し、貴金属等の有用な資源のリサイクルを行っています。

また、資源の循環、リサイクルの見える化を図るため、小型家電から回収した「金」を、京都マラソンの優勝メダルや祇園祭山鉦における装飾品（金工品）等の修復に活用しています。

対象品目 高さ30cm×幅40cm×奥行40cm以内の電気・電池で動く製品とその付属品（例：携帯電話、デジタルカメラ、炊飯器、電動工具、ゲーム機、トースターなど）※ただし家電4品目（テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機・衣類乾燥機）、パソコン、石油・灯油ストーブを除く。

回収場所 区役所・支所等、駅、民間施設
※詳細はホームページなどでご確認ください。

京都市 小型家電リサイクル



【問合せ先】ごみ減量推進課 TEL:075-213-4930
まち美化推進課 TEL:075-213-4960



資源物の拠点回収

区役所・支所、まち美化事務所、上京リサイクルステーションなどの回収拠点や、まち美化事務所が皆様の身近な場所（公園・学校など）に出向き回収する移動式拠点回収を実施しています。

また、令和2年10月から、市民の皆様の資源物の排出機会を更に拡大し、資源循環を一層促進します。

対象品目 古紙類、電池類、使用済灯管・蛍光灯、小型家電などの資源物
※ リチウムイオン電池などの充電式乾電池は、回収拠点にお持ち込みいただく等、適切な処分をお願いします。

【問合せ先】まち美化推進課 TEL:075-213-4960

